C5000 シリーズ

WebControl

取扱説明書

Ver. 1.1.6



目	次
_	

1.	概要		1
2.	シス	テム要件	2
2	1	対応ブラウザー	2
2	.1.	ネットワーク環境	2
3.	起動	l	3
3	.1.	C5000 WEB 監視ページ	3
3	.2.	モジュール一覧ページ	4
3	.3.	閲覧モードと設定モード	6
4.	WE	BCONTROL 各種設定	7
4	.1.	ネットワーク設定	8
4	.2.	DNS 設定	9
4	.3.	時刻設定	10
4	.4.	メール設定	13
	4.4.	1. メール認証	14
	4.4.	2. メール送信例	15
4	.5.	再起動設定	17
5.	×-	っ一詳細	18
. .			10
5	.1.		18
5	.2.		19
	5.2.	1. 別名設定例	21
_	5.2.	2.	22
5	.3.	リオッチリスト	23
	5.3.	1. ワオッチ項目の登録	24
_	5.3.	2. リオツナリスト表示	26
5	.4.		28
	5.4.	1. イハント	29
	5.4. L	2. 衣示行致の設定	30
	5.4.	3. ノイルタリンク設定	31
	5.4.	4. ノイルタリンク設定 項目	33
	5.4.	5. ノイルタリンク設定 画面表示	35
	5.4.	6. ノイルタリンク表示解除	36
	5.4.	7. イベントロクの保存	37

93-10092-08_WebControl 取扱説明書

5.4.8. イベントログのクリア	
5.5. システム設定	
5.5.1. 全般タブ	
5.5.2. アラート設定タブ	
5.5.3. アラート音登録タブ	
5.5.4. その他タブ	
5.6. アップデート	56
5.7. パスワード設定	60
6. モジュールの設定確認・変更	61
6.1. パラメータ設定	61
6.2. アラート設定	
7. お問い合わせ	63

図番号一覧

义	2-1 Microsoft Edge バージョン情報確認	2
义	3-1 WebControl 起動方法	3
义	3-2 ホーム画面	3
义	3-3 モジュール一覧	4
义	3-4 TLC5001 装着例	5
义	4-1 ネットワーク設定一覧	8
义	4-2 DNS 設定例	9
义	4-3 時刻設定例	10
义	4-4 メール設定例	13
义	4-5 メール送信例	15
义	4-6 再起動手順 1	17
义	4-7 再起動手順 2	17
义	5-1 メニューアイコンクリック画面	18
义	5-2 ホーム画面	18
义	5-3 モジュール一覧選択	19
义	5-4 モジュール一覧 (閲覧モード)	20
义	5-5 モジュール一覧 (設定モード)	20
义	5-6 モジュール別名の設定	21
义	5-7 モジュール別名の確認	21

义	5-8 1	列表示	22
叉	5-9 褚	复数列表示	22
义	5-10	ウォッチリスト選択	23
図	5-11	ウォッチリスト登録例 (DSG5002)	24
図	5-12	ウォッチリスト登録例 (DFS5001)	25
叉	5-13	ウォッチリスト表示	26
叉	5-14	表示カラム数 選択画面	27
义	5-15	ウォッチリスト表示 カラム数2の表示例	27
叉	5-16	イベントログ 選択	28
义	5-17	イベントログ例	28
义	5-18	イベントログ 表示行数設定	30
义	5-19	イベントログ フィルタリング設定1	31
义	5-20	イベントログ フィルタリング設定 2	32
义	5-21	イベントログ フィルタリング設定 3	32
义	5-22	モジュール指定 スロット番号指定画面	34
义	5-23	モジュール指定 モジュール名指定画面	34
义	5-24	フィルタリングログ 表示/非表示ボタン	35
义	5-25	フィルタリング表示解除 アイコン	36
义	5-26	イベントログの保存 アイコン	37
义	5-27	イベントログのクリア アイコン	38
义	5-28	イベントログのクリア 確認	38
义	5-29	システム設定 選択	39
义	5-30	システム設定 全般	39
义	5-31	システム設定変更 確認	40
义	5-32	初期化 確認画面	41
义	5-33	フレーム内部エラー 非表示	43
义	5-34	アラート音登録タブ	44
义	5-35	音声ファイルの登録 1	45
义	5-36	音声ファイルの登録 2	45
义	5-37	音声ファイルの登録 3	46
义	5-38	音声ファイルの一括登録 1	47
义	5-39	音声ファイルの一括登録 2	47
义	5-40	音声ファイルの一括登録 3	48
义	5-41	音声ファイルの一括登録 4	48

93-10092-08_WebControl 取扱説明書

义	5-42	音声ファイルの削除 1	50
义	5-43	音声ファイルの削除確認	50
义	5-44	音声ファイルの全削除 1	51
义	5-45	音声ファイルの全削除 確認	51
义	5-46	システム設定の保存	52
义	5-47	設定の復元1	53
义	5-48	設定の復元 2	53
义	5-49	設定の復元 3	54
义	5-50	設定の復元 4	55
义	5-51	アップデート 選択	56
义	5-52	アップデート モジュール選択	56
义	5-53	アップデート デバイス選択	57
义	5-54	アップデート ファイル選択	57
义	5-55	アップデート ボタン	58
义	5-56	アップデート 進行画面	58
义	5-57	アップデート 完了画面	59
义	5-58	パスワード設定 選択	60
义	5-59	パスワード変更	60
义	6-1 🕽	アラート設定	62
义	6-2 =	モジュールパラメータの非表示	62

1. 概要

WebControlは、C5001/C5002/C5002-H2フレーム(以下フレームと省略)に実装されたモジュールの構成や設定の確認、 変更、操作をWebブラウザーで行うことができます。また、SNMPのTRAP制御やTRAPの通知をブラウザーのポップアップウイン ドウ・アラーム音やメール発報で行うこともできます。

《特 長》

- 1. フレームの設定確認・変更や操作が Web ブラウザーで可能
- 2. フレームに実装されたモジュールの設定確認・変更や操作が Web ブラウザーで可能
- 3. 各モジュールの SNMP TRAP の通知/非通知を項目ごとに設定可能(※1)
- 4. SNMP TRAP の通知項目に関して、E-Mail 送信可能
- 5. TRAP 通知ごとにブラウザーのポップアップウインドウ表示/非表示やアラーム音(※2)ON/OFF の設定が可能
- 6. TRAP 通知ごとにメール発報/非発報の設定が可能
- 7. TRAPをログに記録し閲覧およびダウンロードが可能
- 8. モジュールの設定データを PC に保存および復元が可能

※1 TRAP ごと個別に通知/非通知の設定ができないモジュールもあります。

※2 アラーム音は音声ファイルを再生します。音声ファイルは PC に保存します。

Windows 環境では、以下の音声ファイルに対応しています。

[.wav],[.mp3],[.ogg (Vorbis)],[.m4a (MPEG4 AAC)]

2. システム要件

2.1. 対応ブラウザー

Google Chrome、Microsoft Edge に対応しています。その他のブラウザーには対応していません。 Microsoft Edge に関しては、バージョン情報表示で「このブラウザーは Chromium オープンソースプロジェクトおよび他のオープン ソースソフトウェアに基づいて機能します。」と記述があるものが対象です。



2.2.**ネットワーク環境**

同一ネットワーク上にフレームとブラウザーが動作する PC を接続します。

あるいは、別なネットワーク同士を、ルーターを介して接続しフレームと PC を接続します。

WebControl は、フレームとブラウザー間を HTTP で通信します。

メール発報機能をご使用の場合は、SMTP サーバーとの接続や、時刻同期機能をご使用の場合は、NTP サーバーへの接続が 必要です。

Web サーバー	HTTP 1.0/1.1	
	ポート番号: 80 固定	
メール発報(SMTP)	MTP) SMTPに対応するサーバー	
	SMTP 認証(AUTH CRAM-MD5、AUTH LOGIN、AUTH PLAIN)	
	ポート番号: 25 変更可能	
時刻同期(NTP)	NTP に対応するサーバー	
	ポート番号: 123 固定	

※上記は推奨環境です。動作を保証するものではございません。

ご使用になる機材等により接続できない場合もございます。あらかじめご了承願います。

3. 起動

対応ブラウザーで IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

フレームの IP アドレス出荷時設定は、"192.168.0.10"です。

IP 設定の変更は、4.1 ネットワーク設定の「再起動後の IP アドレス」、「再起動後のサブネットマスク」、「再起動後のゲートウェイ アドレス」等を変更後、再起動してください。



図 3-1 WebControl 起動方法

3.1. C5000 Web 監視ページ

WebControl に接続後、「C5000 Web 監視ページ」をクリックします。 図の例では WebControl バージョンは右上の"1.6.1"です。



図 3-2 ホーム画面

3.2.モジュール一覧ページ

モジュール一覧画面を表示します。

≔ Web Control			合 ^	
	1 2 3 4 5 6 7 8 PW	9 10 11 12 13 14 15 /R-A PWR-B Controller	16 17 18 19 20	
C5002 [192.16	8.0.10]			
			16 DFS5001	
17 DFS5001				
21) PSU5002	22 PSU5002	23) C5002 Built-In C	Controller	

図 3-3 モジュール一覧

(1)

フレームのスロット番号で、モジュールが挿入されているスロット番号を緑で表示します。

緑表示にマウスカーソルを重ねると、モジュール型名および別名を表示します。

アラームやエラーを検出しているモジュールは赤で表示します。

WebControl 起動中に抜けたモジュールは黄色で表示します。

(2)

フレームに挿入されているモジュール一覧です。

緑表示をクリックすると、各モジュールのパラメータ画面に遷移します。 ネットワーク設定を行うためには、(1)Controller、あるいは(2)の C5002 Built-In Controller をクリックします。 TLC5001 利用の場合は、TLC5001 と表示されているモジュールを選択してください。

E Web Control			☑ 🖾 _{Popup} ∧ :
	2 3 4 5 6 7 8 PWR-4	9 10 11 12 13 14 15 1 A PWR-B Controller	16 17 18 19 20
C5002 [192.16	58.0.10]		Enter Tab : 確定, Esc : キャンセル
		3 DSG5002	
			8 TLG5002
	10 TLG5002		
		19 TLC5001	20
PSU5002			
21	22	23	

図 3-4 TLC5001 装着例

3.3.閲覧モードと設定モード

WebControl には、各モジュールの設定値を確認する「閲覧モード」と設定値を変更できる「設定モード」があります。 起動時は閲覧モードです。閲覧モード、設定モードの変更はそれぞれの鍵アイコンをクリックします。



閲覧モード時のツールバーの鍵アイコン



設定モード時のツールバーの鍵アイコン 設定値を変更することが可能です。

WebControl バージョン 1.4.0 以前の WebControl では設定モードへの変更にパスワードが必要です。 工場出荷時のパスワードは、「c5000-web-admin」です。

WebControl バージョン 1.6.0 以降はユーザーがパスワードを設定した場合、閲覧モードから設定モードに変更する際パスワード 入力が必要です。



WebControl バージョンは 図 3-2 ホーム画面の右上に表示されています。

4. WebControl 各種設定

WebControlを使用するために、ネットワーク設定が必要になります。 デフォルト設定は以下のものになっているため、ユーザー環境に合わせて設定をお願いします。 設定を変更する場合、「設定モード」にしてから変更してください。

IP アドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.100
SNMP トラップ送信先 1	192.168.0.200

※IP アドレス、DNS、SNTP トラップ送信先 1~6、NTP サーバーの設定を変更した場合、再起動が必要になります。 ※再起動は電源の切断・投入か、4.5 再起動設定で行います。

4.1.ネットワーク設定

設定モードの場合、現在の設定が白地に黒文字、再起動後の設定が黒地に白文字で表示されています。

設定を変更する場合、「再起動後の〜」の項目を変更し、変更完了後、4.5 再起動設定で内蔵コントローラを再起動してください。



図 4-1 ネットワーク設定一覧

機能	初期値	説明
IP アドレス	192.168.0.10	IP アドレス(IPv4)を設定します。
サブネットマスク	255.255.255.0	ネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス	192.168.0.100	ゲートウェイアドレスを設定します。
専用アプリ通信用ポート	12345	TLG5002 など専用アプリが使用するポート番号を設定します。
コミュニティ名(SNMP)	public	コミュニティ名を設定します。
MIB-2 SysName (SNMP)	C5002	機器名称を設定します。
MIB-2 SysContact (SNMP)	http://cosmic-eng.co.jp	SNMP 管理者の連絡先を設定します。
MIB-2 SysLocation (SNMP)	3-2-11, Asahi-ga-Oka, Hino,	機器の設置場所を設定します。
	Tokyo 191-0065, JAPAN	
Trap 送信先アドレス1 (SNMP)	192.168.0.200	Trap 送信先アドレス 1(IPv4)を設定します。
		送信先を指定しない場合、"0.0.0.0"を入力してください。
Trap 送信先アドレス2 (SNMP)	0.0.0.0	\uparrow
Trap 送信先アドレス3 (SNMP)	0.0.0.0	\uparrow
Trap 送信先アドレス4 (SNMP)	0.0.0.0	\uparrow
Trap 送信先アドレス5 (SNMP)	0.0.0.0	↑
Trap 送信先アドレス 6 (SNMP)	0.0.0	\uparrow

4.2. DNS 設定

DNS(Domain Name Server)は、NTP サーバー、メールサーバーをホスト名から IP アドレスに変換します。 会社内ネットワークの場合、ネットワーク管理者に設定を問い合わせてください。 NTP サーバー、メールサーバーを IP アドレスで記述する場合、設定しなくても動作します。

DNS を変更した場合、再起動が必要になります。

DNS設定 [-]	2項目
□ プライマリ・サーバー・IPアドレス	8.8.8.8
セカンダリ・サーバー・IPアドレス	8.8.4.4

図 4-2 DNS 設定例

機能	初期値	説明
プライマリ・サーバー・	0.0.0.0	1 つ目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
アドレス		図 4-2 では google パブリック DNS の値を設定した例を示しています。
セカンダリ・サーバー・	0.0.0.0	2つ目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
アドレス		図 4-2 では google パブリック DNS の値を設定した例を示しています。

4.3. 時刻設定

時刻設定は、マニュアル設定あるいはネットワーク経由(NTP)で日付、時刻情報を取得することが可能です。 モジュールのログや、メール送信時に時刻を表示するために必要となります。

時計設定[-]	16項目
Frameに手動時刻反映	設定
NTP機能	有効
NTPサーバー名/アドレス	ntp.nict.jp
NTP受信タイムアウト(秒)	20
NTPリトライ回数(トラップしきい値)	10
NTPアクセス間隔(秒)	3600
NTP称曲状况	稼働中
NTPIJ-	エラーなし
NTP Trap設定	無効
NTP最新受信時刻	2022-09-01 17:06:28
手動時刻 年	2019
手動時刻 月	1
手動時刻 日	1
手動時刻 時	0
● 手動時刻 分	0
手動時刻 秒	0

図 4-3 時刻設定例

機能	初期値	説明
Frame に手動時		手動時刻の年(1900-3000)、月(1-12)、日(1-31)、時(0-23)、分(0-59)、秒(0.59)を設
刻反映		定後、設定ボタンを押すことでフレームに時刻が設定されます。
		設定ボタンを押すと、NTP 機能は自動で無効になります。
NTP 機能	無効	ネットワーク経由で時間取得機能を有効にするか無効にするかを設定します。
		パラメータを設定する場合は「NTP機能」を「無効」にしてから設定、設定完了後、「有効」にするよ
		うにしてください。
		※稼働中にエラーが発生すると、「無効」表示になることがありますが、再起動した場合、ユーザーが
		設定した値が復元されます。
NTP サーバー名/ア	0.0.0.0	NTP サーバーのホスト名か IP アドレス(IPv4)を設定します。
ドレス		ホスト名を使用する場合、DNS 設定が必要です。
		ホスト名は 最大 64 文字 まで対応します。
		代表的なパブリック NTP サーバーとして以下のものが利用できます。
		ntp.nict.jp
		ntp.ring.gr.jp
		time.google.com
NTP 受信タイムアウ	20	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。
NTP 受信タイムアウ ト(秒)	20	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数	20 10	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。
NTP 受信タイムアウト(秒) NTP リトライ回数	20 10	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数	20 10	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP 機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数	20	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔	20 10 3600	 NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP 機能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒)	20 10 3600	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒)	20 10 3600	 NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒) NTP 稼働状況	20 10 3600	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP 機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒) NTP 稼働状況	20 10 3600	 NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。 「稼働中」か「停止中」が表示されます。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒) NTP 稼働状況 NTP エラー	20 10 3600	 NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~24 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。
NTP 受信タイムアウ ト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔 (秒) NTP 稼働状況 NTP エラー	20 10 3600	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。 「稼働中」か「停止中」が表示されます。 NTP のエラー内容を表示します。 エラー内容は下記 NTP エラーに詳細な説明があります。
 NTP 受信タイムアウト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔(秒) NTP 稼働状況 NTP エラー NTP トラップ設定 	20 10 3600 無効	 NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTP リトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP 機能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。 「稼働中」か「停止中」が表示されます。 NTP の互ラー内容を表示します。 エラー内容は下記 NTP エラーに詳細な説明があります。 NTP エラーが発生した場合、トラップ情報を SNMP/メールに送信するかを設定します。
 NTP 受信タイムアウト(秒) NTP リトライ回数 NTP アクセス間隔(秒) NTP 稼働状況 NTP エラー NTP トラップ設定 NTP 最新受信時 	20 10 3600 無効	NTP サーバーからデータ受信を待つ秒数を設定します。 1~120 秒の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーから応答が無い場合、何回リトライするかを設定します。 NTP 受信タイムアウト秒×NTPリトライ回数の時間内に応答がない場合、エラーと判定し、NTP機 能を停止します。同時に、NTP Trap 設定が有効な場合、Trap 情報を送信します。 1~1024 回の範囲で設定が可能です。 NTP サーバーにアクセスする間隔秒を設定します。 1 時間の場合 3600 秒、24 時間の場合 86400 秒です。 1~86400 秒の範囲で設定が可能です。 NTP の稼働状況を表します。 「稼働中」か「停止中」が表示されます。 NTP のエラー内容を表示します。 エラー内容は下記 NTP エラーに詳細な説明があります。 NTP エラーが発生した場合、トラップ情報を SNMP/メールに送信するかを設定します。 NTP データが受信できた場合、受信最新の日付・時刻情報を表示します。

NTP エラー

NTP でエラーが発生した場合、以下のメッセージが「NTP エラー」に表示されます。

エラー内容	説明
エラーなし	NTP 機能が正常に動作しているとき、あるいは NTP 機能が無効なとき表示されます。
	取得できた最新の日付・時刻情報が「NTP 最新受信時刻」に表示されます。
DNS アドレス解決失敗	1
	原因)「DNS 設定」がされていないため、名前から IP アドレスが取得できないときに表示されます。
	対策) 正しい DNS アドレス(「プライマリ・サーバー・アドレス」、「セカンダリ・サーバー・アドレス」)
	をネットワーク管理者に問い合わせてください。
	社外 NTP サーバーを参照する場合、google パブリック DNS サーバー"8.8.8.8"を使用することで
	接続できる可能性があります。
	2
	原因)「NTPサーバー名/アドレス」のホスト名を間違えているため、IPアドレスが取得できないとき
	に表示されます。
	対策) 正しい「NTP サーバー名/アドレス」をネットワーク管理者に問い合わせてください。
リトライ多数発生	原因)
	NTPサーバーから「NTP受信タイムアウト(秒)」で設定された時間内に応答が無いことが連続して
	「NTPリトライ回数」発生したときに表示されます。
	図 4-3の設定の場合 20 秒以内の応答が 10 回連続して無かった場合に表示されます。
	対策)
	まず、「NTP 受信タイムアウト(秒)」を現在の設定値より2倍程度の値にして設定できるようにな
	るまで試してください。「NTP リトライ回数」はたまにエラーになる場合に、値を大きくしてみてくださ
	<i>ს</i> ۱₀
無効な応答(パケット長)	原因)
	NTP サーバーからのパケット長(データサイズ)が想定している 48Byte では無かったときに表示されま
	す。
	対策)
	常に発生する場合は、NTP サーバーを変更してみてください。
	変更しても発生する場合、LAN ケーブルを交換してみてください。
RTC 時間情報設定失敗	原因)
	C5000 シリーズの内蔵時計に日付・時刻が設定できなかったときに表示されます。
	対策)
	電源を一旦切り、再度電源を投入してください。それでも発生する場合弊社まで連絡をお願いしま
	す。

4.4.メール設定

メール機能が有効な場合、SNMP 送信が設定されているトラップ情報に関してメールでも送信することが出来ます。

メール機能を使用する場合、①メールサーバー名/アドレス、②SMTP ポート、③アカウント名、④パスワード、⑤1 つ以上の宛先 アドレス、⑥送信者アドレス、⑦返信先アドレスを設定してから、メール機能を有効にしてください。

メール設定[-]	17項目
□ メール機能	無効
□ メールサーバー名/アドレス	192.168.0.200
SMTP#	25
	5
アカウント名	admin
□ パスワード	c5000-admin
□ 宛先アドレス1	c5000-master@ce-domain
□ 宛先アドレス2	
□ 宛先アドレス3	
□ 宛先アドレス4	
□ 宛先アドレス5	
□ 送信者アドレス	c5000@ce-domain
□ 返信先アドレス	c5000@ce-domain
□ 件名	Trap Mail from C5002-20
□ 本文	Trap Mail Body
□ メール初期値設定	いいえ 🗘
_ Trap設定	無効。

図 4-4 メール設定例

機能	初期値	説明
メール機能	無効	メール機能を有効にするか無効にするかを設定します。
		パラメータを設定する場合は「メール機能」を「無効」にしてから設定、設定完了後、「有効」にす
		るようにしてください。
メールサーバー名/ア		メールサーバーのホスト名か IP アドレス(IPv4)を設定してください。ホスト名は最大 64 文字まで対
ドレス		応します。
SMTP ポート	25	メール送信に使うポートを設定します。
		1~65534の範囲で設定が可能です。25で動作しない場合、ネットワーク管理者に問い合わせて
		ください。
メール送信間隔	5	メール送信の間隔を設定します。
		送信間隔内で発生したトラップ情報は1通のメールで送信されます。
		C5000 内部では 128 個トラップを保存できます。メール送信前に 128 個以上のトラップが発生し
		た場合、後から発生したトラップはメール送信されません。
パスワード		メールサーバーのパスワードを設定します。
		1~32 文字の範囲で設定が可能です。
宛先アドレス 1~5		メールの宛先アドレスを設定します。
		最大 5 人まで設定でき、0~64 文字の範囲で設定が可能です。
		0 文字の場合、宛先は無視されます。

機能	初期値	説明
送信者アドレス		メール送信者のアドレスを設定します。
		0~64 文字の範囲で設定が可能です。
		プロバイダによっては送信者アドレスが設定されていないとメールを受け付けない場合があります
		ので、設定するようにしてください。
返信先アドレス		メール返信先アドレスを設定します。
		0~64 文字の範囲で設定が可能です。
		特に指定が無い場合、送信者アドレスと同じアドレスに設定してください。
件名		メールのサブジェクトを設定します。
		半角英数字 0~64 文字、日本語 0~16 文字の範囲で設定することができます。
本文		メール本文の先頭につける定型文を設定します。
		半角英数字 0~128 文字、日本語 0~32 文字の範囲で設定することができます。
メール初期化設定	いいえ	メール設定を初期化します。
Trap 設定	無効	メール送信でエラーが発生した場合のトラップを設定します。
		「無効」または「有効」を設定できます。
		※メール送信でエラーが発生した場合、トラップデータをメールで送信できないため、WEB 制御画
		面、あるいは SNMP 経由でのトラップ表示となります。

4.4.1. メール認証

C5000 シリーズのメール送信は以下の認証に対応しており、セキュリティレベルが高い順に認証を試みます。

- 1. CRAM-MD5 (最もセキュリティレベルが高い)
- 2. LOGIN
- 3. PLAIN

4.4.2. メール送信例

メール送信例を示します。

🌍 Trap Mail from C5002-20 - Mozilla Thunderbird	_		×
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) 移動(<u>G</u>) メッセージ(M) ツール(I) ヘルプ(H)			
□受信 ∨ 🖋 作成 □ テャット 🧟 アドレス帳 🛇 タグ ∨			≡
差出人 c5000@ce-domain☆ ち 返信 ち 全員に返信 マ	~	転送	その他 🗸
件名 Tran Mail from C5002-20			16:40
			20110
宛先 c5000-master@ce-domain 😭			
Trap Mail Body Sender TP : 192.168.0.10 [C5002 frame]			
Schuch In . 152,100,0,10 [C5002 frame]			
Mail Index : 3			
Date/Time : 2020-02-26 16:39:59			
Trap Sender : slot id=8 TLG5002			
Trap Cause : status change			
Trap OID : 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.7.0.50			
Trap Value 1 : 10			
Tran Value 3 · 3			
Trap Value 4 : 6			
Trap Value 5 : 1			
Trap Value 6 : 4			
Trap Value 7 : 1			
Trap Mail End			
No. and the second seco			

図 4-5 メール送信例

メール1件につき2行のデータが先頭につきます。

項目	説明	
C5002 Trap Mail Body	「件名」で設定した文字列が表示されます。	
Sender IP:	送信された C5000 シリーズの設定 IP が表示されます。	
	ここでは、192.168.0.10 で設定された機器からのトラップメールであることを表しています。	
	[]で囲まれた文字列は製品情報の別名が表示されます。ここでは、「C5002 Frame」	
	と別名設定されていることを表します。	

トラップデータ内容が以下のフォーマットで表示されます。

項目	説明
Mail Index	C5000を起動してからの通算メール件数を表します。
	1~4,294,967,295(0xFFFFFFF)までの番号になります。
Date/Time	発生した日付・時刻を表示します。
	NTP 機能の設定が行われていない場合、正しい日付・時刻が表示されません。
Trap Sender	Trap が発生したモジュールのスロット番号、名称が表示されます。
Trap Cause	Trap 発生の要因を示します。要因は以下のものがあります。
	・detect (検出)
	・lost (ロスト)
	・alarm (異常)
	・normal (正常)
	・status change (状態変化)
	・information (情報)
	・error (エラー)
	・unknown (不明)
	Trap 要因に対応していないモジュールの場合はすべて nknown になります。
Trap OID	Trap OID を表示します。

4.5. **再起動設定**

ネットワーク設定を変更した場合、フレームの再起動が必要になりますが、WebControlから再起動を行うことが出来ます。 ※再起動はフレーム内蔵の CPU のみで、フレーム内のモジュール動作には影響しません。

再起動手順

- 1. 設定モードにする
- 2. 「再起動を許可」を「いいえ」から「はい」にする
- 3. 「コントローラの再起動」の「再起動」ボタンを押す



図 4-6 再起動手順1

再起動設定[-]		2項目
■ 再起動を許可	はい	÷
□ コントローラの再起動	再起動	

図 4-7 再起動手順 2

5. メニュー詳細

Web 画面右上のメニューアイコン:をクリックすると、メニュー一覧を表示します。



図 5-1 メニューアイコンクリック画面

5.1.**ホーム**

ホーム画面に遷移します。



図 5-2 ホーム画面

5.2.モジュール一覧

メニュー一覧内の「モジュール一覧」をクリックすると、フレームに実装しているモジュールの一覧を表示します。



図 5-3 モジュール一覧選択

閲覧モード時のモジュール一覧

≔ Web Control ⊃				A ^ :
4	2 3 4 5 6 7 8 PV	9 10 11 12 13 14 15 10 VR-A PWR-B Controller		
C5002 [192.168.0.10]				
1 DSG5002		3 DFS5001		
5 MUX5002-4D				
9 DMX5002-8D				
13				
17				
21) PSU5002	22 PSU5002	23 C5002 Built-In Cont	roller	
		©2018 Cosmic Engineering Inc.		
		山 臣仁 (日日臣	生 ー しい)	

図 5-4 モジュール一覧 (閲覧モード)

設定モード時のモジュール一覧

≔ Web Control			C ^ :
3	2 3 4 5 6 7 8 9 PWR-A	10 11 12 13 14 15 16 17 18 PWR-B Controller	19 20
C5002 [192.168.0.10]			Enter Tab : 確定, Esc : キャンセル
DSG5002		3 DFS5001	4
5 MUX5002-4D		7	8
3 DMX5002-8D			12
			16
			20
21 PSU5002	PSU5002	23 C5002 Built-In Controller]
	©2018 C	nsmic Engineering Inc.	

図 5-5 モジュール一覧 (設定モード)

5.2.1. 別名設定例

例として、 ⁽ⁱⁱⁱDFS5001 に"**系統 1_FS**"、 ⁽ⁱⁱⁱⁱDFS5001 に"**系統 2_FS**"を入力します。

≔ Web Control)			ピ ^ :
	2 3 4 5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 B Controller	19 20
C5002 [192.168.0.10]			Enter Tab : 確定, Esc : キャンセル
			4
			8
			12
			15 DFS5001 系統1_FS
DFS5001 <u> 経統2_F</u> S			20
DCUEDOD	DCUEDOO		
21	22		
	©2018 Cosmic	Engineering Inc.	

図 5-6 モジュール別名の設定

マウスカーソルをスロット番号に重ねると、モジュール型名と設定した別名を表示します。

≔ Web Control ⊂		DFS5001:系統2_F	s 🖄 🖄 🖄
1 2	: 3 4 5 6 7 8 9 10 PWR-A PWF	11 12 13 14 15 16 17 18 -B Controller	19 20
C5002 [192.168.0.10]			Enter Tab : 確定, Esc : キャンセル
1			
5			
9			
13			16 DFS5001 系統1_FS
17 17 系統2_FS			
2) PSU5002	22 PSU5002	23 C5002 Built-In Controller	
	©2018 Cosmic	Engineering Inc.	

図 5-7 モジュール別名の確認

この設定はブラウザーに保存されます。

同じ PC で接続する場合、次回起動時にこの設定を行う必要はありません。 別の PC やブラウザーで接続する場合は、未設定となります。

5.2.2. 複数列表示

各モジュールをクリックすると、モジュールのパラメータ等の確認ができますが、1 行 1 列表示と 1 行複数列表示を切り替えることが できます。

複数列表示:OFF

4 Web Control				A ~ :
		5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 1 B Controller	
DFS5001	Slot:16			
Ħ‡パラ		▲ アラート	<> コネクタ	# その他
				●● 複数列表示
	製品情報			6 .
	■ 製品ID		8	
	□ 製品概要		DFS5001 : 1 slot 3G/HD/SD Synchronizer Modu	-SDI Frame Jle
	Version (Firmware)		1.1.3.0	
	Version (Hardware)		1.0.6.0	
	□ 占有スロット数		1	
	□ 別名		DFS5001	
	各種設定			131 g m
	□ 入力1リレー		オン	
	□ リファレンス選択		フレーム	
	▲ 水平位相		0	
	垂直位相		0	

図 5-81列表示



図 5-9 複数列表示

この設定はブラウザーに保存されます。

同じ PC で接続する場合、次回起動時にこの設定を行う必要はありません。 別の PC やブラウザーで接続する場合は、未設定となります。

5.3. **ウォッチリスト**

ウォッチリストは、モジュールごとにウォッチ登録した項目をまとめて、閲覧や設定ができます。

複数モジュールのウォッチ項目が、1 画面に表示されます。

各モジュールのパラメータ画面で、ウォッチ登録します。



図 5-10 ウォッチリスト選択

5.3.1. ウォッチ項目の登録

DSG5002とDFS5001を例にします。

I. モジュール画面のパラメータ画面でウォッチする項目のチェックボックスをチェックします。

以下は、DSG5002 各種設定-「リファレンス選択」、ステータス-「リファレンス」をチェックします。

	1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 1: PWR-A PWR-B	1 12 13 14 15		× کا
G5002 Slot:1					
井 パラメータ		<i>▲</i> アラート	<> J 		# その他
					御 複数列表
					678
裂品情報					
】 叙品ID	17	□ 製品概要	DSG5002 : 2 slot 3G/HD/SD-SDI Signal Generator Module	Version (Firmware)	1.1.4.0
] Version (Hardware)	1.0.6.0	占有スロット数	2	□ 別名	DSG5002
各種設定					349158
リファレンス選択	71-52	□ A1/A2 フォーマット	1080159	□ A1/A2 水平位相	0
A1/A2 垂直位相	0	B1/B2 フォーマット	1080159	□ R1/B2 水平位相	0
B1/B2 垂直位相	0	REF1 フォーマット	525159 0	□ WCLK1 出力	無効・
REF1 水平位相		□ REF1 垂直位相	0	□ REF2 フォーマット	525I59 ¢
WCLK2 出力	無効。		0		0
LTC 出力選択	A1 \$		オフ \$		2160P59A \$
(*0.1dBFS) B2 エンベデッドCh08周波	1000	数(Hz) □ B2 エンペデッドCh08振幅	-200	(*0.1dBFS) □ B2 エンペデッドCh09周波	1000
数(Hz) B2 エンペデッドCh09振幅	-200	(*0.1dBFS) □ B2 エンベデッドCh10周波	1000	数(Hz) B2 エンベデッドCh10振幅	-200
(*0.1dBFS) B2 エンベデッドCh11周波	1000	数(Hz) □ B2 エンペデッドCh11振幅	-200	(*0.1dBFS) B2 エンベデッドCh12周波	1000
数(Hz)		(*0.1dBFS)		数(Hz)	
B2 エンペデッドCh12振幅 (*0.1dBFS)	-200	 B2 エンペデッドCh13周波 数(Hz) 	1000	 B2 エンペデッドCh13振幅 (*0.1dBFS) 	-200
B2 エンペデッドCh14周波 数(Hz)	1000	 B2 エンペデッドCh14振幅 (*0.1dBFS) 	-200	 B2 エンペデッドCh15周波 数(Hz) 	1000
B2 エンペデッドCh15振幅 (*0.1dBFS)	-200	 B2 エンベデッドCh16周波 数(Hz) 	1000	 B2 エンペデッドCh16振幅 (*0.1dBFS) 	-200
アラーム設定(内部バス通 信エラー)	<mark>無効 。</mark>	 アラーム設定(リファレン スアンロックエラー) 	無効。	 アラーム設定(LTCアンロ ックエラー) 	<mark>無効 </mark> 。
」トラップ設定(リファレン スアンロックエラー)	無効。	 トラップ設定 (LTCアンロ ックエラー) 	無効。	○ 初期設定に戻す	いいえ 🗢
」 コンフィグファイルに書き 込み	いいえ キ				
ステータス					6JA E
コリファレンス	525159	Dipsw1	0x0	Dipsw3	0x0
内部バス通信エラー	エラー無し	Uファレンスアンロックエ ラー	ロック		アンロック



93-10092-08_WebControl 取扱説明書

Ⅱ. 同様に、DFS5001 各種設定 – 「リファレンス選択」、ステータス – 「SDI 入力 1」、「リファレンス」をチェックします。

Web Control 🔵					ピ ^
	1 2 3 4				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		PWR-A PWR-B	Controller		
FS5001 Slot:3					
┼ ┼パラメータ		▲ アラート	<> コネクタ	7	# その他
					海教 利主日
					12007132/1
製品情報					6項目
- #Pro	0		DES5001 + 1 clot		1170
	0	教训队主	3G/HD/SD-SDI	Version (Firmware)	1.1.7.0
			Synchronizer		
	1060		Module		
Version (Hardware)	1.0.6.0		1		DFS5001
各種設定					131項目
□ 1 ⊅1 10	* `.		71/()	□ 水田位相	
● 新酒位相	0	FST-K			74-6
□ <u>平田</u> 辺冊 □ アンシラリー出力	オン	□ ¹³ L ¹	Auto		プレム ÷
□ ATC(VITC)出力	77	 □ エンベデッド・グループ1 	71010 V	□ エンベデッド・グループ2	メン オン ・
	12	出力	12	出力	1 5
エンベデッド・グループ3	オン・	エンペデッド・グループ4 ホン・ ホン ホー ホー	オン ≎	エンベデッド・グループ5	オフ ᅌ
W+		W+	(W +	
			>		
カレントリマップ出力Ch14	EmbIn Ch14 🗧	⇒ カレントリマップ出力Ch15	EmbIn Ch15 🔶	」カレントリマップ出力Ch16	EmbIn Ch16 🔶
カレントリマップ出力Ch17	EmbIn Ch17 ¢	⇒ カレントリマップ出力Ch18	EmbIn Ch18 💠	□ カレントリマップ出力Ch19	EmbIn Ch19 💠
」カレントリマップ出力Ch20	EmbIn Ch20	◆ □ カレントリマップ出力Ch21	EmbIn Ch21 💠	□ カレントリマップ出力Ch22	EmbIn Ch22 \$
」 カレントリマップ出力Ch23	EmbIn Ch23		EmbIn Ch24 💠	」カレントリマップ出力Ch25	EmbIn Ch25 \$
」 カレットリマップ武力Ch26	Embin Ch26		Embin Ch27 \$		Embin Ch28 \$
	Embin Ch29		Embin Ch30 ¢		Embin Ch31 ÷
」 カレントジャクロハにいる	Embin Ch32	■ カレント自用建処(IIIS)	32		1000
ハレント米波(*0.190)	1000	□ <i>ЛИ</i> УГЕн(*0.1)	<u> </u>		#X) •
□ アラーム設定(SDI入力1	無効	🗧 🗌 アラーム設定 (リファレン	無効。	🗌 アラーム設定(LTCアンロ	無効。
アンロックエラー)		スアンロックエラー)		ックエラー) 	
 トラップ設定(SDI入力1 アンロックエラー) 	無効	トラップ設定(リファレン スアンロックエラー)	無効	 トラップ設定(LTCアンロ ックエラー) 	無効
□ 初期設定に戻す	いいえ :	🗧 🗌 コンフィグファイルに書き	いいえ 💠		
		込み			
ステータス					8項目
図 S II入力1	525159	🛛 גכעדרע	525159	Dipsw1	0x0
Dipsw3	0x0	内部バス通信エラー	エラー無し	SDI入力1アンロックエラ ー	ロック
□ リファレンスアンロックエ ラー	ロック	□ LTCアンロックエラー			

図 5-12 ウォッチリスト登録例 (DFS5001)

5.3.2. ウォッチリスト表示

メニューから「ウォッチリスト」を選択します。

設定したモジュールとウォッチ項目を表示します。

また、設定モード時はこの画面で設定の変更ができます。

💿 Web Control ၂			C ^ :
1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14 15 PWR-A PWR-B Controller		
1 : DSG5002			
リファレンス選択	フリーラン		¢
リファレンス		525159	
3 : DFS5001			
リファレンス選択	フレーム		¢
SDI入力 1		525159	
リファレンス		525159	
	©2018 Cosmic Engineering Inc.		

図 5-13 ウォッチリスト表示

表示カラム数の変更

「表示カラム数」アイコンをクリックし、カラム数欄をクリックすると表示カラム数のリストを表示します。

1、2、3、4、6から選択します。

Veb Control			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller			
			88
1 : DSG5002	カラム数 1		
リファレンス選択フリーランフリーラン	1		
リファレンス 525159 525555555555	2 3		
	4		
3 : DFS5001			
リファレンス選択 フレーム		0	
SDI入力1 525159			11
リファレンス 525159			11

図 5-14 表示カラム数 選択画面

表示カラム数2を選択した場合、図 5-14のようになります。

◎ Web Control J			r 10 - 11
 2 3 	1 5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 19 2 -B Controller	0
			88
1 : DSG5002		3 : DFS5001	
リファレンス選択	フリーラン +	リファレンス選択	フレーム +
リファレンス	525159	SDI入力 1	525159
		リファレンス	525159
	©2018 Cosmic I	Engineering Inc.	

図 5-15 ウォッチリスト表示 カラム数2の表示例

5.4. イベントログ

イベントログの表示と保存を行います。



図 5-16 イベントログ 選択

イベントログは、対応ブラウザーで WebControl と接続し、「C5000 Web 監視ページ」をクリックした以降から採取します。

監視ページを閉じたり、対応ブラウザーを終了するとイベントログは消失します。

PC に保存の際は、「イベントログの保存」を実施願います。

イベントは赤:エラー、黄:警告、緑:通知、青:情報で分類されます。

U Web Control				ľ ^ :
	1 2 3 4 5 6	7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 1 PWR-A PWR-B Controller		
Total: 546 521	0 2 23	< 1 / 11 >	50 ÷ 7 E	a @
 2016/10/11 19:12-49] 2016/10/11 19:12-49] 2016/10/11 19:12-49] 2016/10/11 19:12-49] 2016/10/11 19:12-40] 2016/10/11 19:12-40] 2016/10/11 19:12-30] 2016/10/11 19:12-30] 2016/10/11 19:12-30] 2016/10/11 19:12-31] 2016/10/11 19:12-32] 2016/10/11 19:12-32] 2016/10/11 19:12-32] 2016/10/11 19:12-32] 2016/10/11 19:12-23] 2016/10/11 19:12-20] 2016/10/11 19:12-13] 2016/10/11 19:12-03] 2016/10/11 19:11-53] 	Frank Internal Error Frank Internal Error	command: 15/getRageInfo; message: Alus Error command: 15/getRageIn		

図 5-17 イベントログ例

5.4.1. イベント数表示とページ操作



5.4.2. 表示行数の設定

1ページ当たりの表示行数を設定します。

行数欄をクリックし、50、100、200、500、all から選択します。



図 5-18 イベントログ 表示行数設定

5.4.3. フィルタリング設定

イベントリスト一覧をフィルタリングして、確認したいイベントを抽出できます。

I.フィルタリングアイコンをクリックします。

Web Control		合 ^ :	
	1 2 3 4 5 6	7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller	
Total: 14 <mark>11</mark> 2	2 9	< 1 / 1 > 100 • 🖓 🖻 🔟]
© [2018/10/15 11:10:35] © [2018/10/15 11:10:34]	Same Module Detect Module Alert	sletNo: 3; module: DFS5001 sletNo: 33; module: C5902 Built-In Controller; tag: ; TrapOID: 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.19.0.3; スロット3 : モジュー リガ酸地球191.4	
▲ [2018/10/15 11:10:18] ▲ [2018/10/15 11:10:18]	Module Lost Module Alert	http://www.charolac.org statto:3; module: C5002 Built-In Controller; tag: ; TrapOID: 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.19.0.103; スロット3:モジュ は 砂砂 マンロットマンロ・ペート	
© [2018/10/15 11:08:34] © [2018/10/15 11:08:34] © [2018/10/15 11:08:34] © [2018/10/15 11:08:34]	Same Module Detect Same Module Detect	sourou, 23, moute: Coold Joint Controller statilo: 22, module: PSUS002 statilo: 21, module: PSUS002	
© [2018/10/15 11:08:34] © [2018/10/15 11:08:34] © [2018/10/15 11:08:31] © [2018/10/15 11:08:31]	Same Module Detect Same Module Detect System Info	sottion 3, module: prosoul statilo: 1; module: DSS5002 command: IsApStarted; message: true	
© [2018/10/15 11:08:31] © [2018/10/15 11:08:28]	System Success System Success	command: login; message: command: initAppState; message:	
Total: 14 📘 2	29	< 1 / 1 > 100 * 7 6 1	
			J
		©2018 Cosmic Engineering Inc.	

図 5-19 イベントログ フィルタリング設定1

Ⅱ.フィルタリング設定で抽出したい項目をチェックします。(下図は、ステータス – エラー をチェック) 「絞り込み」をクリックすると、エラーステータス行を表示します。

[] Web Control	合 ^ :
1 2 3 4 5	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller
Total: 14 (1) <mark>1 (1)</mark> 2 (0) <mark>2 (0) 9 (0)</mark>	
	 イベントタイプ ステータス(色) Eジュール指定 システム関連 ジェラー(赤) スロット番号 フレーム関連 警告(黄) 「 トラップ・アラート 通知(線) Eジュール名 「有報(青) ●
× [2018/10/15 11:08:54] Module Alert	sietko 22; module: PSU5002; tag: ; TrapOID: 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.21.0.101; 孫嬰忠力要素
Total: 14 (1) <mark>11(1)</mark> 2 (0) 2 (0) 9 (0)	< 1 / (1) > 100 ÷ 7 🖻 🗇
	©2018 Cosmic Engineering Inc.

図 5-20 イベントログ フィルタリング設定 2

さらに、「情報」をチェックすると、エラーステータスと情報を表示します。

Veb Control 🔿									e	5 ^	÷
1 2	3 4 5 6 7	7 8 9 PWR-A	10 11 PWR-B	12 13 Controller							
Total: 14 (10) 1 (1) 2 (0) 2 (0) 9 (9)	< 1	1 / ((1) >			100	• 7 E) 🗇		
			フィル	タリング設	定						
			イベント	〜タイプ		マテータス(色	5)	E モジュー	ル指定		
			口 シ	ステム関連		🔽 エラー ()	赤)	0 スロッ	卜番号		
				レーム関連		警告(苗))				
							,	— ±≈;-	_11 - 2		
				フツノ・アフ	,-r	一週知(稼))				
						🔽 情報(青))				
									絞り込み	解除	
[2018/10/15 11:10:35]	Same Module Detect	slotNo: 3:	module: Df	- S5001							
		slotNo: 23	3; module: C								
		ルが検出さ slotNo: 22						.1; 電源出力正常			
[2018/10/15 11:08:34]	Same Module Detect			PSU5002							
[2018/10/15 11:08:34]	Same Module Detect	slotNo: 3;	module: Df	-55001							
[2018/10/15 11:08:34]	Same module Detect	command	i isAnnStart	ed: message: h							
(2018/10/15 11:08:34] (2018/10/15 11:08:34] (2018/10/15 11:08:34] (2018/10/15 11:08:34] (2018/10/15 11:08:34] (2018/10/15 11:08:31]	Same Module Detect Same Module Detect Same Module Detect Same Module Detect Same Module Detect System Info	slotNo: 23 slotNo: 23 slotNo: 21 slotNo: 3; slotNo: 1; command	s; module: C 2; module: F L; module: Pf module: Df i: isAppStart	(1) >>002 Built-In C >SU5002 >SU5002 >SU5002 SG5002 (1) >>	rue			100	100 🗘 🏹 🗄	100 🕴 🏹 🛱 🗇	100 🔹 🏹 🛱 🔟

図 5-21 イベントログ フィルタリング設定3

5.4.4. フィルタリング設定 項目

- 1) イベントタイプ
- ■システム関連:WebControl自体に関するイベントを表示します。
- ・システムエラー・システム警告
- ・システム通知・システム情報
- ・ネットワークエラー・フレーム内部エラー
- ・パスワード変更 ・パスワードリセット
- ■フレーム関連:モジュールに関するイベント(トラップ・アラート以外)を表示します。
- ・モジュール未検出(モジュールが抜けた) ・新規モジュール検出
- ・登録済みモジュール検出
- ・フレーム種別変更(C5001 から C5002 に変わった、またはその逆)
- ・フレーム設定変更(MAC アドレス変更、など)・モジュール情報変更(設定項目が増えた場合、など)
- ・モジュールバージョン変更・・モジュールパラメータ変更
- ■トラップ・アラート:各モジュールのトラップ・アラートを表示します。
- ・各モジュールのトラップ・アラート
- ・アラート取得失敗(トラップ・アラートが多数発生し、コントローラ内部のバッファがオーバーフローした時)
- 2) ステータス
 - ・エラー(赤)
 ・警告(黄)
 - ・通知(緑)・情報(青)

93-10092-08_WebControl 取扱説明書

3) モジュール指定:スロット番号あるいはモジュール型名を指定します。



図 5-22 モジュール指定 スロット番号指定画面

2	モジュール指定		
)スロット番号		
•	モジュール名		
	DFS5001	÷	
Ī	DSG5002		
	DFS5001		
	05115002		
	-303002		

図 5-23 モジュール指定 モジュール名指定画面

5.4.5. フィルタリング設定 画面表示

「フィルタリング」アイコンをクリックします。

Web Control		A ~ :
1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 PWR-A PWR-B Controller	
Total: 14 (1) 1 (1) 2 (0) 2 (0) 9 (0)	< 1 / (1) >	
	フィルタリング設定	
	イベントタイプ	ステータス (色) 🛛 モジュール指定
	□ システム関連	☑ エラー(赤) ◎ スロット番号
	□ フレーム関連	□ 警告 (黄) 1
	🗌 トラップ・アラート	□ 通知 (緑) □ モジュール名
		□ 情報 (青) 🔶
		絞り込み
Total: 14 (1) 1(1) 2 (0) 2 (0) 9 (0)	\langle 1 / (1) $ ightarrow$	100 🕈 🏹 🛱 🗇
	@2018 Cosmic Engineering Inc	

図 5-24 フィルタリングログ 表示/非表示ボタン

5.4.6. フィルタリング表示解除

「解除」アイコンをクリックします。

🗋 Web Control 👃		合 ^ :					
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 <u>PWR-A</u> <u>PWR-B</u> <u>Controller</u>							
Total: 14 📕 2 2	9	< 1 / 1 > 100 ÷ \[\[\[\] \[\]					
		フィルタリング設定					
		イベントタイプ ステータス (色) 🗌 モジュール指定					
		🗌 システム関連 🛛 🔽 エラー(赤) 🔹 💿 スロット番号					
		□ フレーム関連 □ 警告(黄) 1					
		絞り込み 解除					
	Same Module Detect						
0 [2018/10/15 11:10:34]	Module Alert	slotNo: 23; module: C5002 Built-In Controller; tag: ; TrapOID: 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.19.0.3; スロット3 : モジュー ルが報告されました :					
▲ [2018/10/15 11:10:18]	Module Lost	slotNo: 3; module: DFS5001					
▲ [2018/10/15 11:10:18]	Module Alert	slotNo: 23; module: C5002 Bullt-In Controller; tag: ; TrapOID: 1.3.6.1.4.1.47892.1.1.19.0.103; スロット3 : モジュ ールが取り外されました。;					
© [2018/10/15 11:08:34]		slotNo: 22; module: PSU5002					
0 [2018/10/15 11:08:34]	Same Module Detect	slotNo: 21; module: PSUS002					
0 [2018/10/15 11:08:34]	Same Module Detect	sidure, 3, nouse, produle, produce, pro					
0 [2018/10/15 11:08:34]	System Info	source 1, mourie, Dassource , and a source a					
© [2018/10/15 11:08:31]	System Success	command: logic mesane:					

図 5-25 フィルタリング表示解除 アイコン

5.4.7. イベントログの保存

「保存」アイコンをクリックします。

対応ブラウザーが設定しているダウンロードフォルダーにイベントログを保存します。 ファイル名は、「eventlog_YYYYMMDD_HHMMSS.log」です。



図 5-26 イベントログの保存 アイコン

5.4.8. イベントログのクリア

「ゴミ箱」アイコンをクリックします。

U Web Control				🖒 ^ :		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller						
Total: 546 521	0 2 23	< 1 / 11 >	50 ÷ 7 6			
<pre>> [2018/10/11 19:12:46] > [2018/10/11 19:12:47] > [2018/10/11 19:12:45] > [2018/10/11 19:12:45] > [2018/10/11 19:12:41] > [2018/10/11 19:12:40] > [2018/10/11 19:11:45] > [2018/10/11 19:11:45]</pre>						

図 5-27 イベントログのクリア アイコン

イベントログをクリアする際には「OK」をクリックします。「キャンセル」で中断します。

[] Web Control ⊂				Ľ ^ :			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller							
Total: 684 658 0	2 24			a i			
<pre>* [2018/10/11 19:17:03] * [2018/10/11 19:17:01] * [2018/10/11 19:16:59] * [2018/10/11 19:16:57]</pre>							
<pre>× [2018/10/11 19:16:55] × [2018/10/11 19:16:54] × [2018/10/11 19:16:52] × [2018/10/11 19:16:50] × [2018/10/11 19:16:48]</pre>	確認(ログクリ	ק)					
<pre>> (2018/10/11 19:16:47) > (2018/10/11 19:16:45) > (2018/10/11 19:16:43) > (2018/10/11 19:16:43) > (2018/10/11 19:16:41)</pre>	イベントログをクリ	Jアしてもよろしいですか? 	キャンセル				
× [2018/10/11 19:16:39] × [2018/10/11 19:16:38] × [2018/10/11 19:16:36]	Frame Internal Error	command: 15/getPageInfo; message: Abus Error					
* [2018/10/11 19:16:34] * [2018/10/11 19:16:32] * [2018/10/11 19:16:31]							
× [2018/10/11 19:16:29] × [2018/10/11 19:16:27] × [2018/10/11 19:16:25]							
× [2018/10/11 19:16:23] × [2018/10/11 19:16:22] © [2018/10/11 19:16:20]							
* [2018/10/11 19:16:20] * [2018/10/11 19:16:18] * [2018/10/11 19:16:16]							
<pre>> [2018/10/11 19:16:15] > [2018/10/11 19:16:13] > [2018/10/11 19:16:13] > [2018/10/11 19:16:11]</pre>							
× [2018/10/11 19:16:09]							

図 5-28 イベントログのクリア 確認

5.5.**システム設定**

システム設定には、「全般」、「アラート設定」、「アラート音登録」、「その他」があります。



図 5-29 システム設定 選択

5.5.1. 全般タブ

铰 Web Control				Ľ	(X) Popup	~ :
	1 2 3 4 5 6		PWR-A PWR-B Controller			
システム設定						
◎ 全般	⚠ アラート設定		ゴ)) アラート音登録		# そ の他	
					● 複数	例表示
ポップアップ設定			確認ダイアログ			
● ● ● ● ● 表示位置			● モジュールへ設定値を書き込む際に	こ確認する		
左下						
ポップアップ表示が消えるまでの時間(秒)						
イベントログ			ページ描画			
最大イベント保持数			ワイド画面で横いっぱいにページを	描画する		
1000						
時計情報			初期化			
ム内蔵時計の日付・時刻を使用す	する(SNTP/RTC)		Web Controlの設定を出荷時に戻す 初期			
	©2018 Cosmi	ic Engi	neering Inc.			

図 5-30 システム設定 全般

ポップアップ設定

ポップアップ表示全般の表示位置、表示が消えるまでの時間を設定します。

確認ダイアログ

モジュールへ設定値を書き込む際に確認する/しないを設定します。

確認するに設定した場合は、モジュールの設定値を変更するたびに下記ダイアログを表示します。

モジュールに書き込む際は「OK」をクリックします。「キャンセル」で破棄します。

尊 Web Control (Ľ ~ :			
3 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controler								
DSG5002 Slot:1								
					● 複数列表示			
	確認(設	定変更)						
	モジュール	の設定を変更してもよろしい	ヽですか?					
			ОК	キャンセル				
各種設定								
			1080I59 ¢					
	A1 \$	□ 4K モード	オフ \$	☐ 4K フォーマット				

図 5-31 システム設定変更 確認

イベントログ

イベントログのバッファサイズを指定します。

バッファサイズを超えた場合は古いイベントから順に削除されます。

ページ描画

ブラウザーの画面全体に表示する/しないを指定します。

時計情報

チェックするとイベントログの時刻を C5000 の内蔵時計に合わせ、チェックオフするとパソコンの時刻に合わせます。

初期化

WebControl の全設定値を初期化します。

「初期化」をクリックします。

確認のダイアログを表示しますので、初期化する場合は「OK」をクリックします。「キャンセル」で中断します。

システム設定						
左下 ポップアップ表示が消えるまでの時間	確認(初期化)					
	初期化してもよろしいですか?					
イベントログ		OK				

図 5-32 初期化 確認画面

5.5.2. アラート設定タブ

@ Web Control 0	企 ^ ;	ポップアップ表示するアラートを設定します。
1 2 3 4 5 6 7 8 0 10 11 12 PWRA PWRB Con	2 13 14 15 16 17 18 19 20 troiler	I.アラート項目
システム設定 ③ 全地 ① アラート設定	は) アラート音登録 # その他	・モジュール未検出
	徵赦列表示	・新規モジュール検出
Trap DID: n/a Trap エラーメッセージ モジュール未検出 エラー ユーザーメッセー ユージー ユージー	OID: n/a メタセージ 新規モジュール検出 ザーメツセー	・登録済みモジュール検出
ボップアップ表示	プアップ表示 🔵 表示 🌹 💿 自動消去 ON	・アラート取得失敗
Select alert sound c	Select alert sound	・フレーム種別変更
Trap OID: n/a Trap エラーメッセージ 登録スタエジュール検出 エラ	01D: n/a - メッオァージ: アラート記録年時	・フレーム設定変更
ユーザーメッセー ジ ポップアップ表示 万元 日本市た N ポップ	ガーメッセー ガアップ教示 天元 日齢消去のFF	・モジュール情報変更
77-h≇ ON NO LOOP 77-	-NB OFF No LOOP	・モジュールバージョン変更
		・パスワード変更
Trap OID: n/a Trap エラーメッセージ フレーム総防空更 エラー ユーザーメッセー ユー	OID: n/a -メッセージ フレーム設定変更 ザーメッセー	・パスワードリセット
9 ポップアップ表示 フラート章 フラー フラート章 フラー フラート章 フラー フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート章 フラート フラート フラート章 フラート フラー フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラート フラー フラート フラート フラート フラート		・モジュールパラメータ変更
Select alert sound :	Select alert sound	・ネットワークエラー
Trap OID: n/a Trap エラーメーセージ エジューリノ活動が面 エラー	OID: n/a - メッセーマン エジコールノ「ージョンの面	・フレーム内部エラー
ユーザーメッセー ジ ボップアップ表示 ティー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・システムエラー
P3−hậ OFF No LOOP P3−	-h# OFF NO LOOP	・システム警告
		・システム通知
Trap OID: n/a Trap エラーメッセージ パスワード変更 エラー ユーザーメッセー ユーザ ユーザ	OID: n/a ーメッセージ パスワードリセット ザーメッセー	・システム情報
ジ ボップアップ表示 テ テ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
Select alert sound c	Select alert sound 0	Ⅱ.設定項目
Trap OID: n/a Trap マニックロセージ エジューリノニックセージ マニックロセージ	OID: n/a → vetr=2: żwk□_trr⊐_	・ユーザーメッセージ:任意のメッセージ
ユーザーメッセー ジ ポップアップ表示 0 0+5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		・ポップアップ表示:表示/非表示
75-hâ Off No Loop 75-		•表示色:赤/黃/緑/青
	Select alert source 0	•自動消去:自動消去 ON/自動消去 OFF
Trap OID: n/a Trap エラーメッセージ フレームがポエラー エラー ユーザーメッセー ユーザ	010: n/a -メッセージ システムエラー ザーメッセー	・アラート音:ON/OFF
ジ ポップアップ表示 () 非表示 () () () () () () () () () () () () ()	プアップ表示 - 表示 - 自動消去 OFF	・アラート音ループ再牛:LOOP/NO LOOP
Select alert sound c	Select alert sound 0	 ・音声ファイル指定・登録済み音声より選択
Trap OID: n/a	OID: n/a	
ユーザーメッセー ジ ジ ポップアップ表示 一 #5 日前初末 occ ポップ		
P3−h≇ OFF No Loop P3−	-h# OFF No LOOP	
Trap OID: n/s エラーメッセージ システム情報 ユーザーメッセー		
ッ ポップアップを示 ● #表示 ■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		
Select alert sound		
©2018 Casmic Engineering	g Inc.	*

アラート設定例 (フレーム内部エラー)

「設定モード」であることを確認します。

エラーメッセージが「フレーム内部エラー」までスクロールします。

「ポップアップ表示ー表示」をクリックして、非表示に変更します。

非表示に変更後、「フレーム内部エラー」表示をクリックしてポップアップ表示を消してください。

Web Contro	ol Lite : preference × +		A CONTRACT OF	States - States - States
\rightarrow C	① 保護されていない通信	192.168.0.10/#/webControl/prefere	nce/alert	• Q 🕁 💹 🗾 🗌
Web Con	itrol 🔿			
	<u></u> 2	3 4 5 6 7 8 9 10 PWR-A PW	11 12 13 14 15 16 17 18 19 R-B Controller	
ステム	設定			
	◎ 全般	⚠ アラート設定	ム) アラート音登録 -	# その他
	Trap OID:	n/a		
	エラーメッセージ	フレーム内部エラー		
	ユーザーメッセージ			
	ポップアップ表示	● 非表示		
	7-1#			
	Pa		NO LOOP	
	Trap OID:	n/a		
	エラーメッセージ	システムエラー		
	ユーザーメッセージ			
	ポップアップ表示	一 表示	🔅 💿 自動消去 OFF	
70-1	内部エラー	OFF	NO LOOP	
comma	nd: 15/getPageInfo	Select alert sound		
messag [2018/	10/03 16:05:491			
[2010/	10/03 10:03:49]			

図 5-33 フレーム内部エラー 非表示

この設定は、ブラウザーに保存されます。次回起動時にこの設定を行う必要はありません。

5.5.3. アラート音登録タブ

ポップアップ表示する際のアラート音を登録します。アラート音の ON/OFF、繰り返しは「アラート設定」で行います。 アラート音は、音声ファイルを再生します。音声ファイルは 64 ファイルまで登録できます。 また、登録した音声ファイルの削除も行えます。

> 铰 Web Control 🤈 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1 2 3 4 5 システム設定 ◎ 全般 \land アラート設定 # その他 🚺 複数列表示 合計:(登録なし)/(no data) B × ß

図 5-34 アラート音登録タブ

音声ファイルの登録

I. 音声ファイルを選択します。「ファイル」アイコンをクリックします。

🕸 Web Control			C ^ :			
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller						
システム設定						
◎ 全般	⚠ アラート設定	(1)) アラート音登録	井 その他			
			🛑 複数列表示			
合計:(登録なし) / (no data)			一括登録			
			D ×			
3 :	D ×	4 :	C ×			
5 :	D ×	6 :	C ×			
7:		8 :				

図 5-35 音声ファイルの登録1

Ⅱ.ファイル選択ダイアログから音声ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

© #<					×)		Le	- • ×
	WebControl > SE			★ 49 SEの検索	٩	07	0 4		
整理 ▼ 新しいフォル	9-			8	• •		~ # E		
お気に入り	名前	h	タイトル	参加アーティスト	דווות			e ·	^ :
◎ ダウンロード E ■ デスクトップ	 alert3.mp3 being-disheartened-1.mp3 cocknit-alert-1 mp3 		異常発生		ポケットサウン	18 19 20			
24 最近表示した場所 DFS5001_µSD DFS5001_µSD DFS5001_µSD	 cockpit-alert-3.mp3 crcet_answer2.mp3 decision-6.mp3 emargency calling.mp3 		151129_013	(c)Taira Komori My Recording (c)Taira Komori			# 7	-の神	
🍃 ライブラリ	 emergency_signal.mp3 factory_siren1.mp3 honking-horn-1.mp3 meka ge keihou03 mp3 			(c)Taira Komori (c)Taira Komori				復数	列表示
	inteka_ge_keinodoo.mps		m				一括登録		削除
274	ハル名(N): cockpit-alert-1.mp3		J	 	・ 「キャンセル」				× 11
3 :				< 4:					× 10
5 :				6:					×
7:				8 :		k		D	×

図 5-36 音声ファイルの登録 2

Ⅲ. 音声ファイルが登録され、名称、再生時間、ファイル容量を表示します。

また、「▷」アイコンで、プレビュー確認(ファイル再生)できます。

🔅 Web Control			ピ ^ :
1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 1 R-B Controller	
システム設定			
◎ 全般	⚠ アラート設定	↓) アラート音登録	# その他
			● 複数列表示
合計:1項目 / 136,044bytes (132.9k	3)		一括登録
1 : cockpit-alert-1.mp3 (5.64秒 / 132.9kB)			
1_cockpit-alert-1.mp3			
	Ľ ×	4 :	D ×
5 :	<mark>b</mark> ×	6 :	D ×
		8 :	

図 5-37 音声ファイルの登録3

音声ファイル登録時、テキストボックス(名称)にはデフォルトで『(番号)_(ファイル名)』が設定されます。変更する際は、テキスト ボックスを直接書き換えます。

システムおよび各モジュールのアラート設定で音声ファイルを選択するリストには、このテキストボックスに入力された名称が表示されます。

音声ファイルの一括登録

I. 音声ファイルを選択します。「一括登録」アイコンをクリックします。

🐯 Web Control			ピ ^ :		
1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller				
システム設定					
⑥ 全般	⚠ アラート設定	(小) アラート音登録	# その他		
			複数列表示		
合計:(登録なし) / (no data)			一括登録しデータ削除		
	ľ ×		C ×		
	D ×	4 :	C ×		
5 :	C ×	6 :	C ×		
7:		8:			

図 5-38 音声ファイルの一括登録1

Ⅱ.「ここを[クリック]して~」をクリックしファイル選択ダイアログで音声ファイルを選択します。

铃 Web Control			ピ ^ :
1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 19 R-B Controller	
システム設定			
◎ 全般	⚠ アラート設定	ム)) アラート音登録	# その他
			🛑 複数列表示
合計:(登録なし) / (no data)			
	ファイルをここにドラック ある ここを クリック してファ	プアンドドロップするか、 いは イルを指定してください。	
		4:	

図 5-39 音声ファイルの一括登録 2

Ⅲ. ファイル選択ダイアログから複数の音声ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

€ 開<	-					_ _ X
🔾 🔾 🖉 🔰 🕨 sho 🕨 🗸	WebControl 🖡 SE		• • • SEの検索	Q		
整理 ▼ 新しいフォル	9-		33	• 1 0	0 7 Q	
🔆 お気に入り	名前	ト タイトル	参加アーティスト	אזעוק 🔶		
ダウンロード	alert3.mp3	異常発生		ポケットサウン		
■ デスクトップ	being-disheartened-1.mp3			8		
◎ 最近表示した場所	cockpit-alert-1.mp3					
	cockpit-alert-3.mp3					
J DF53001_µ3D	crrect_answer2.mp3		(c)Taira Komori			
J DFS5001_µSD	decision-6.mp3	151129_013	My Recording			
DFS5001_µSD	emargency_calling.mp3		(c)Taira Komori			# その他
	emergency_signal.mp3		(c)Taira Komori			
🍃 ライブラリ	factory_siren1.mp3		(c)Taira Komori			有数列表示
	honking-horn-1.mp3					a and the second second
@ コンピューター	meka_ge_keihou03.mp3			+		
Mindowe7 OS	٠ <u>[</u>	m		•		隠す 全データ削除
			間<(0)	キャンセル		
		<i>ここを<u>クリック</u>してフォ</i>	イルを指定してくだ	さい。		
1:		<u>b</u> ×	2:			D ×
3 :			4 :			

図 5-40 音声ファイルの一括登録 3

IV. 若番から空いている番号に自動的に登録し、ファイル名、再生時間、ファイル容量を表示します。 また、「▷」アイコンで、プレビュー確認(ファイル再生)できます。

ô Web Control			ピ ^ :
1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 R-B Controller	
システム設定			
◎ 全般	⚠ アラート設定	(1) アラート音登録	# その他
			() 複数列表示
合計:4項目 / 339,972bytes (332kB)			隠す 全データ削除
	ファイルをここにドラック ある ここを <u>クリック</u> してファ	アンドドロップするか、 いは イルを指定してください。	
1 : alert3.mp3 (4.44秒 / 106.7kB) 1_alert3.mp3		2:being-disheartened-1.mp3 (3.03秒 / 71.6kt 2_being-disheartened-1.mp3	3) <mark>D ×</mark>
3 : cockpit-alert-1.mp3 (5.6449 / 132.9kB) 3_cockpit-alert-1.mp3		4 : cockpit-alert-3.mp3 (0.86秒 / 20.8kB) 4_cockpit-alert-3.mp3	

図 5-41 音声ファイルの一括登録 4

93-10092-08_WebControl 取扱説明書

音声ファイル登録時、テキストボックス(名称)にはデフォルトで『(番号)_(ファイル名)』が設定されます。変更する際は、テキスト ボックスを直接書き換えます。

システムおよび各モジュールのアラート設定で音声ファイルを選択するリストには、このテキストボックスに入力された名称が表示されます。

音声ファイルの削除

I. 削除する音声ファイル項目の「×」アイコンをクリックします。

袋 Web Control			ピ ^ :			
1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller					
システム設定						
⑥ 全般	⚠ アラート設定	(小) アラート音登録	# その他			
			🛑 複数列表示			
合計:1項目 / 136,044bytes (13:	2.9kB)		一括登録」全データ削除」			
1:cockpit-alert-1.mp3 (5.64秒 / 132.	9kB) 🕒 🗙		D ×			
1_cockpit-alert-1.mp3						
	D ×	4:	Ď ×			
5 :	C ×	6 :	C ×			
		8:	► ×			

図 5-42 音声ファイルの削除 1

Ⅱ. 確認画面を表示します。削除する場合は「OK」をクリックします。「キャンセル」で中断します。

袋 Web Control			ピ ^ :
0 :			
システム設定			
⑥ 全般			
合計:1項目 / 136,044bytes (722.04P) 確認 (削除)		
1:cockpit-alert-1.mp3 (5.64秒 / 1	このアラート音のデータを削除しても	5よろしいですか?	
1_cockpit-alert-1.mp3			
3 :			
5 :			
7:			

図 5-43 音声ファイルの削除確認

音声ファイルの全削除

I.「全データ削除」アイコンをクリックします。

袋 Web Control			ピ ^ :		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller					
システム設定					
⑥ 全般	⚠ アラート設定	(小) アラート音登録	# その他		
			() 複数列表示		
合計:4項目 / 339,972bytes (332kB)			一括登録		
1 : alert3.mp3 (4.44秒 / 106.7kB)	C ×	2 : being-disheartened-1.mp3 (3.03	秒 / 71.6kB) 🕒 🗙		
1_alert3.mp3		2_being-disheartened-1.mp3			
3:cockpit-alert-1.mp3 (5.64秒 / 132.9kB)	C ×	4:cockpit-alert-3.mp3 (0.86秒 / 20	.8кв) 🕒 🗙		
3_cockpit-alert-1.mp3		4_cockpit-alert-3.mp3			
5:	<mark>b</mark> ×	6 :	D ×		
7:		8:			

図 5-44 音声ファイルの全削除1

Ⅱ.確認画面を表示します。削除する場合は「OK」をクリックします。「キャンセル」で中断します。

🔅 Web Control			C ^ :		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller					
システム設定					
◎ 全般					
合計:4項目 / 339,972bytes (;	確認(全データ削除)				
1:alert3.mp3 (4.44秒 / 106.7kB)	全ての音声データを削除してもよろし	しいですか?	71.6kB)		
1_alert3.mp3					
3:cockpit-alert-1.mp3 (5.64秒 / 1	32.9kB)		BkB)		
3_cockpit-alert-1.mp3					
5:					
7:					

図 5-45 音声ファイルの全削除 確認

音声ファイル仕様

```
Windows 環境では、以下の音声ファイルに対応しています。
「.wav」,「.mp3」,「.ogg(Vorbis)」,「.m4a(MPEG4 AAC)」
```

5.5.4. その他タブ

設定の保存と復元

システム設定で設定した値は、設定した PC 上に保存しています。 PC を更新する場合や他の PC で WebControl を実行するときは、設定の保存と復元で設定値を移動します。 現 PC でシステム設定の保存をしたデータファイルを移行先の PC で復元します。 あるいは、バックアップとしてデータファイルを管理します。

設定の保存

I. 処理の選択で「保存」をチェックし、保存する項目をチェックします。 「全機能モジュールの設定」は、フレームに実装している各モジュールの設定値です。 各モジュールの設定は、モジュールごとの設定画面でも保存することができます。 保存ファイル名を入力します。

铰 Web Control			区 ^ :		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller					
システム設定					
◎ 全般	⚠ アラート設定	ロ)) アラート音登録	# その他		
	·				
システム設定の保存	・復元				
処理を選んでください。					
●保存 ○復元					
項目を選んでください。					
□ 全てを選択					
□ システム全般の話	定值				
🗌 アラート設定					
□ アラート音登録					
□ フレームの識別名	- 10 - th				
□	の設定				
ファイル名を入力して下	きい。				
C5002-Setting					
	保	存			
	©2018 Cosmic	Engineering Inc.			

図 5-46 システム設定の保存

I.「保存」をクリックすると C5002 フレームからダウンロードします。
 保存先は対応ブラウザーで設定されているダウンロードフォルダーです。
 ファイルの拡張子は「.json」です。

設定の復元

I. 処理の選択で「復元」をチェックします。

够 Web Contr	rol			ピ ^ :		
	1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 PWR-A PWR	11 12 13 14 15 16 17 18 1 R-B Controller	9 20		
システム	設定					
		⚠ アラート設定	は)) アラート音登録 	# その他		
	システム設定の保存・復元 処理を選んでください。 ○ 保存 ● 復元					
		ファイルをここにドラッ ある ここを クリック してファ	ヴアンドドロップするか、 らいは -イルを指定してください。			
	ファイル名: 最終更新日: サイズ: bytes					
	項目を選んでください。					
	 全てを選択 システム全般の設定値 アラート設定 アラート音登録 フレームの満別名: "" 全搭載モジュールの設定 					
		4	ī元			
©2018 Cosmic Engineering Inc.						

図 5-47 設定の復元1

Ⅱ. 復元するデータファイルを選択します。

「ここを[クリック]して~」でファイル選択ダイアログからデータファイルを選択します。



図 5-48 設定の復元 2

Ⅲ. 復元する項目をチェックし、「復元」をクリックします。



図 5-49 設定の復元3

Ⅳ. 復元が終わったら、ホーム画面に遷移してページの「再読み込み」を行います。
 画面上で右クリックして、「再読み込み」をクリックします。

Web Control Lite : home × +							x
← → C ① 保護されていない通信 192.168.0.10/#/		Q	☆	13	5	٢	:
() C C Marcet CONSTRUCT 12:100010/9/	Ver 0.9.9.1		A				*
DDC/DUC500x	2ペーシ 1月ページ						
戻る(B)	Alt+左矢印丰一						
進む(F)	Alt+右矢印丰一						
再読み込み(R)	Ctrl+R						
名前を付けて保存(A)…	Ctrl+S						
EDB/(P)····	Ctrl+P						
≠ヤスト(C)…							
日本語に翻訳(T)							
■ ウェブページ全体をスクリーンショット	- FireShot 🔹						
ページのソースを表示(V)	Ctrl+U						
検証(I)	Ctrl+Shift+I						
							-

図 5-50 設定の復元4

5.6. アップデート

フレームに実装しているモジュール、内蔵コントローラや電源ユニットのファームウェア(FW)、および FPGA プログラム(FPGA)のアップ デートを行います。

Web Control Ver 1.6.	1	
@ ホーム		
≔ モジュール一覧		
◎ ウォッチリスト		
0 イベントログ		
◎ システム設定		
0 パスワード設定		
English		
	L	1+551

図 5-51 アップデート 選択

各プログラムデータは弊社よりご提供いたします。

I. モジュールの選択をクリックし、アップデートするモジュールを選択します。

Web Control Lite : update >>	× +							 x	
← → C ① 保護されていい	ない通信 192.168.0.10/	#/webControl/update		0- Q	☆	BI 🗾	5	: 3	
🕅 Web Control (ľ	3 ^		^
	1 2 3 4 5	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 PWR-A PWR-B Controller							
1.	モジュールの選択								
	モジュールの選択			ţ					
	モジュールの選択 DSG5002								
۷.	DFS5001 MUX5002-4D								
	DMX5002-8D								
3.	C5002 C5002 C5002 C5002 C5002 Built-In Controller								
		ファイルをここにドラッグアンドドロップする	<u></u> ታ`						
		あるいは ここを クリック してファイルを指定してくださ	τ ι .						
	指定されたファイル:								
	ファイル名:								
	最終更新日: サイズ・ hytes								
4.	アップデート対象の選択								
	◎ 全てを選択								
									-

図 5-52 アップデート モジュール選択

Ⅱ.デバイスの選択をクリックし、アップデートするデバイスを選択します。

Web Control Lite : update	× €					×
← → C ① 保護されてい	Vはい通信 192.168.0.10/#/webControl/update	୍ର	☆		٩	:
🕅 Web Control				図 へ		*
	1) 2 3) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 2 PWR-A PWR-B Controller					
1	. モジュールの選択					
	DSG5002					
2	- デバイスの選択					
	デバイスの選択	k (
	デバイスの選択 CPU: main					
3	· FPGA: FPGA					
	ファイルをここにドラッグアンドドロップするか、 あるいは ここを クリック してファイルを指定してください。					
	指定されたファイル:					
	ファイル名:					
	<u>最終史和日.</u> サイズ: bytes					
4	. アップデート対象の選択					
	□ 至 (左 遷 按					+

図 5-53 アップデート デバイス選択

Ⅲ.「ここを[クリック]して~」をクリックしファイル選択ダイアログでプログラムデータファイルを選択します。

■ \	→ ++ デスクトップの検索 ρ	
整理 ▼ 新しいフォルダー	8	२ 🕁 🔟 🗾 🔄 🌑
★ お気に入り	Matsuda ファイル フォルダー	ピ ^ :
■ デスクトップ 図 最近表示した場所 「ファイル フォルダー	tsaito ファイルフォルダー	
▶ DFS5001_µSD ▶ DFS5001_µSD ↓ DFS5001_µSD ↓ ファイル フォルダー	VMware_Data ファイルフォルダー	
DFS5001_µSD C5002_main_webUpda v0.9.9.1.bin	te_web_ DSG5000_main_Release_v112.	
() ライブラリ □ BIN ファイル primary1	BIN 77-11	
■ コンピューター ■ Windows7 OS 1 2 1.18 KB		
ファイル名(N): DSG5000_main_Release	_v112.bin ・ BIN ファイル (.bin) ・	
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
	ファイルをここにドラッグアンドドロップするか、	
	のないは ここを <u>クリック</u> してファイルを指定してください。	
指定されたファイル:		
ファイル名:		
最終更新日:		
サイズ: byte	s	
4. アップデート対象の	崖 択	
2.168.0.10/#	Ver.1.1.2.0)	

図 5-54 アップデート ファイル選択

Ⅳ. アップデート対象を選択し、「アップデート」をクリックします。

🕲 Web Control 🤿	C ^ : ^
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 <u>PWR-A PWR-B Controller</u>	
1. モジュールの選択 DSG5002	
2. デバイスの選択 CPU: main *	
3. アップデートファイルの指定	
ファイルをここにドラッグアンドドロップするか、 あるいは ここを クリック してファイルを指定してください。	
指走されたファイル: ファイル名: DSG5000_main_Release_v112.bin 最終更新日: 2018/9/27 サイズ: 324,800 bytes	
4. アップデート対象の選択 ☑ 全てを選択	
♥ slot1: DSG5002 (Ver.1.1.2.0) アップデート	
©2018 Cosmic Engineering Inc.	

図 5-55 アップデート ボタン

アップデート中

🏵 Web Control 🔿		C ·	∧ : î
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller		
	1. モジュールの選択		
	2. デパイスの選択		
	3. アップデートファイルの指定		
	ファイルをここにドラッグアンドドロップするか、 あるいは ここを クリック してファイルを指定してください。		
	指定されたファイル: ファイル名: DSG5000_main_Release_v112.bin		
	最終更新日: 2018/9/27 サイズ: 324,800 bytes		
	4. アップデート対象の選択		
	◎ 全てを選択		
	▼ slot1: DSG5002 (Ver.1.1.2.0) う 初期代 100%		
	消去 100%		
	書き込み 33%		
	検証 0%		
	198530 0%		
	n		
	©2018 Cosmic Engineering Inc.		-

図 5-56 アップデート 進行画面

アップデート完了

🕅 Web Control		ピ ^ :	^
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 <u>PWR-A PWR-B Controller</u>		
	1. モジュールの選択		
	DSG5002 \$		
	2. デバイスの選択		
	CPU: main \$		
	3. アップデートファイルの指定		
	ファイルをここにドラッグアンドドロップするか、 あるいは ここを クリック してファイルを指定してください。		
	指定されたファイル: ファイル名: DSG5000_main_Release_v112.bin		
	最終更新日: 2018/9/27 サイズ: 324,800 bytes		
	4. アップデート対象の選択		
	□ 全てを選択		
	□ slot1: DSG5002 (Ver.1.1.2.0) ✓		
	アップデート		
	©2018 Cosmic Engineering Inc.		-

図 5-57 アップデート 完了画面

フレームのファームウェアアップデートを行った場合の注意点

WebControl バージョンが 1.5.x のパスワード非対応バージョンから、1.6.0 以降のパスワード対応バージョンにファームウェアアッ プデートをした場合、パスワードのリセットを行う必要があります。

5.7 パスワード設定のパスワードのリセットを行ってください。

5.7.パスワード設定

パスワードを変更します。

出荷時のパスワードは、「無し」で設定されていません。

パスワードは、「閲覧モード」から「設定モード」に切り替える際に入力しますが、「無し」の場合は入力無しに「閲覧モード」、「設定 モード」に切り替わります。



図 5-58 パスワード設定 選択

V Web Contro	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PWR-B Controller		opup 🖌	· :
	パスワード変更 現在のパスワード 新しいパスワード 新しいパスワード (確認用) 変更	パスワードのリセット パスワードを工場出荷時のものに戻します。(パスワード無し) リセット用パスワード	リセット		

図 5-59 パスワード変更

・パスワードの変更

「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード(確認用)」を入力します。

「現在のパスワード」の出荷時設定は以下です。(WebControl バージョンは 図 3-2 ホーム画面の右上に表示されています)

WebControl バージョン 1.4.0 以前は「c5000-web-admin」です。

WebControl バージョン 1.6.0 以降は「無し」です。何も入力しないでください。

入力完了後、パスワード変更の「変更」ボタンを押下することでパスワードが変更できます。

・パスワードのリセット

パスワードを出荷時設定の「無し」にします。

「リセット用パスワード」に「force-reset-password」を入力し、「リセット」ボタンを押下することで出荷時設定に戻ります。 WebControl バージョンが 1.5.x のパスワード非対応のバージョンから、1.6.0 以降のパスワード対応バージョンにファームウェアア ップデートをした場合、パスワードのリセットを行う必要があります。

6. モジュールの設定確認・変更

モジュールの設定確認・変更は、各モジュールの取扱説明書を参照してください。 モジュール一覧表示で、設定変更あるいは設定確認を行う場合、3.2 モジュール一覧ページに従って操作してください。

6.1.パラメータ設定

パラメータ設定を変更するためには、編集モードにします。(3.3 閲覧モードと設定モード参照)

パラメータ画面で各項目を設定します。設定は即座に反映します。

マイクロSDカードにパラメータを保存するモジュールは、次回起動時に同じ設定にするためには保存ボタンを押下する必要があります。

6.2. アラート設定

モジュールの状態が変わったとき、ブラウザー左下にポップアップメッセージが表示されますが、このメッセージの表示/非表示設定を 行います。

モジュール選択後、「アラート」を押下します。

🔅 Web Control				区 🛛 _{Popup} へ :
1	2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 (12 13 14 15 16 17 18 19 20 PWR-A PW	/R-B Controller
DVD5111 Sid	ot:12			
	ータ	▲ アラート	<>> コネクタ	# その他
				() 複数列表示
	# \$	品情報 [+]		6项目
	名	種設定[+]		6項目
	7	テータス [+]		6项目

図 6-1 アラート設定

抑制したいエラーメッセージのポップアップ表示を「表示」→「非表示」に変更します。

アラート設定は接続する PC のブラウザー側に保存するため、同じ PC で接続する場合、再接続後も設定は保存されます。 異なる PC や異なるブラウザーでフレームと接続した場合、設定は初期値設定となります。

井井 パラメータ		▲ アラート	く〉 コネクタ	# その他
				● 複数列表示
	Trap OID: エラーメッセージ ユーザーメッセージ ポップアップ表示 アラート音	1.3.6.1.4.1.47892.1.1.35.0 SDI入力 ロック ま示 のFF Select alert sound	2.2 清 () 自動消去 OFF () NO LOOP 全)	
	Trap OID: エラーメッセージ ユーザーメッセージ ポップアップ表示 アラート音	1.3.6.1.4.1.47892.1.1.35.0 CPU温度 異常 ① 表示 ③ OFF Select alert sound	1.100 高	

図 6-2 モジュールパラメータの非表示

7. お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング Address:〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11 TEL: 042-586-2933 (代表) 042-586-2650 (SI部) FAX: 042-584-0314 URL: https://www.cosmic-eng.co.jp/ E-Mail:c1000@cosmic-eng.co.jp